
医療サイドができること 患者さんサイドができること

- ・前述のように小児救急医療は困難な状況下におかれています。しかし一方で、国は少子化対策の一つとして小児医療の改善を重点政策として掲げており、その動きは活発化しています。
- ・日本小児科学会でもその手助けをするために、“日本小児科学会小児医療改革・救急プロジェクトチーム”を立ち上げ、現在もその活動をつづけています。例えば、
- ・減少する小児科の問題を解消するための「地域小児科センター」案の提出、なり手が減少している小児科医の問題を解決するための若手小児科医を育てる教育・研修体制の確立、過酷な状況におかれている小児科医の問題を解決するための医師の労働環境改善への着手、などなど…。
- ・しかし残念ながら、これらの社会的構造の整備は一朝一夕で行えるものではありません。だからこそ、お子さんを受診させるおかあさん自身で、これからすぐにできることに取り組んでいただきたいのです。
- ・減少する小児科の問題を解決するために、お母さん方をお願いしたいのです。
- ・それはお子さんとよく遊び、よく接することです。
- ・長い時間を一緒に過ごしているご家族の方は、医師より断然お子さんのことを理解しているはずです。
- ・今まで蓄積してきたお子さんの成長に伴うたくさんの情報を元に、ちょっとした変化をとらえたり、過去の状況になぞらえたりして適切に判断してあげてください。
- ・「熱はあるけど元気そうだから、明日外来を受診すればいいな」「いつもと様子が違うから病院を受診しよう」と、ご家族自身でお子さんを守ってあげてください。そのとき判断に迷ったら、ぜひこのホームページを活用してください。
- ・お子さんの様々な症状から、時間外に受診をした方がいいか、おうちで様子を見たらよいか、判断の助けを担います。減少する小児科の問題を解決することは、過酷な状況におかれている小児科医の問題の解消にもつながります。
- ・なぜなら、安易な小児救急の利用が減少すれば、小児科医の負担が減るからです。
- ・そしてそれは医療事故が起こる可能性を減らすことにもつながります。
- ・もちろん、実際に医師の手助けが必要となったときには迷わず病院を受診してください。お子さんの病気を治すために、そしてご家族の不安を取り除くために、それぞれの医師が尽力をつくします。

症状の項目

発熱(38℃以上)

お子さんにあてはまる項目全てにチェックしてください。
あてはまる項目を選択し、診断ボタンを押してください。(複数選択可)

- 生後3カ月未満である。
- 元気はある。
- 無表情で活気がない。
- おしっこが出ている。オムツがいつものとおり濡れている。
- あやすと笑う。
- 1日中ウトウトしている。
- 水分はとれる。

[結果を見る](#)

けいれん・ふるえ

お子さんにあてはまる項目全てにチェックしてください。
あてはまる項目を選択し、診断ボタンを押してください。(複数選択可)

- 生後6ヶ月未満である。
- 意識が戻らない。
- くちびるの紫色が続いている。
- 生まれて初めてのけいれんである。
- けいれんが5分以内でとまった。
- 体温が38℃以下であった。
- けいれんに左右差がある。
- 最近頭を激しくぶつけた。
- 何度も、繰り返しけいれんがおこる。
- てんかんという病名もしくは診断がついている。
- けいれんがどうか分からない。

[結果を見る](#)

意識がない

お子さんにあてはまる項目全てにチェックしてください。
あてはまる項目を押してください。

・刺激しなくても目を覚ましているとき…

あやすと笑うが、何となくぼやっとしている。

あやしても笑わないが、視線は合う。

母親と視線が合わない。

・刺激すると目がさめる、刺激をやめると眠り込むとき…

飲み物や乳首を見せると飲もうとする。

呼びかけると開眼して目を向ける。

呼びかけを繰り返すと辛うじて開眼する。

・刺激しても目が覚めないとき…

痛み・刺激に対し、払いのける動作をする。

痛み・刺激に対し、少し手足を動かしたり顔をしかめる。

痛み・刺激に反応しない。

泣き止まない

お子さんにあてはまる項目全てにチェックしてください。
あてはまる項目を選択し、診断ボタンを押してください。(複数選択可)

- 母乳やミルクを与えると落ち着く。
- 元気である。
- だっこしてしばらくすると、泣き止む。
- おしりが赤い。
- 耳をさわる。耳だれがある。
- オムツを変える時、足を痛がる。
- 泣いていたのに、急に泣き止みぐったりした。
- 2～3日前からウンチが出ていない。
- おまた(陰のう、股のつけね)がふくらんでいる。
- 顔色が悪く、不機嫌そうに痛がる。
- 突然、おびえて泣き出す。

[結果を見る](#)

やけど

■チェック■

まずはしっかり冷やしましょう。

冷やすことのメリット

- ・冷やすことで皮膚深部への熱の伝達を防ぎます。
- ・冷やすと痛みも和らぎやすくなります。

冷やす方法

- ・流水(水道水)や氷などを利用して冷やします。
- ・市販されている冷えるシートは、熱傷の冷却用には使えませんので注意してください。
- ・熱いお風呂に落ちたなど、服を着たままの熱傷の場合には、服の上から冷やします。最低20～30分間以上、痛みが消失するのを目途に冷やしましょう。

熱傷の処置としてしない方がいいこと

- ・民間療法(アロエをぬるなど)は極力しないようにしましょう。
- ・熱傷部位にさわらないようにしましょう。

■チェック■

病院受信のめやす

診察時間まで様子を見てよい熱傷

次の場合は翌日の診療時間内の受診でかまわないでしょう。

- ・熱傷面積がお子さんの手のひらより狭い(指先など)とき。
- ・水ぶくれがないとき。

ただし、よく冷やしてあげることは忘れずに！

診療時間外でも病院へ行った方がよい熱傷

- ・広範囲の熱傷の場合には、熱傷の程度が軽くみえても受診をしましょう。
- ・熱傷部分が白、もしくは黒くなっている場合は範囲に関わらず必ず受診しましょう。
- ・関節部分や手のひらなどを熱傷した場合、皮膚の引きつれがおこり動かしにくくなる可能性がありますので、早めに受診しておきましょう。
- ・熱傷の重症度判断はきわめて難しいので、判断がつかない場合は病院を受診しましょう。

お医者さんに伝えましょう。

1. 熱傷の原因はなんですか？

熱いお茶やカップラーメンなどをテーブルにしているときにはお子さんから目を離さない、ポットやアイロンなどをお子さんの手の届くところに置かないなど、普段から注意してあげることが大切です。それでも思わぬお子さんの行動により熱傷は起こります。もしそうなった場合でも、あわてずに以上のような対処をしましょう。

皮膚のブツブツ

お子さんにあてはまる項目全てにチェックしてください。
あてはまる項目を選択し、診断ボタンを押してください。(複数選択可)

- かゆみがある。
- 薬を飲んで発疹が出てきた。
- もりあがったリング状の発疹が出てきた。
- 顔やくちびるが、はれぼったい
- 息苦しく、声がかすれてきた。
- 舌にイチゴのようなザラザラがある。
- 目とくちびるが真っ赤だ。
- 暗い紫色の小さな点々が、足のひざから下に出ている。
- 関節やおまた(陰のう、股のつけね)を痛がる。
- 皮膚のブツブツに、膿(うみ)や汁(しる)がある。
- 小さな水ぶくれがポチポチと出てきた。
- リンゴのような赤いほっぺたになった。
- 熱が長引き、皮膚のブツブツがではじめた。
- 目ヤニやせきがひどく、元気がない。

[結果を見る](#)

動物に咬まれた

◆まずは下記の処置を試してみましょう。

1. 咬まれたところを流水でよく洗いましょう。
2. 家庭に常備してある殺菌消毒薬で患部を充分消毒しましょう。

処置をしたうえで、お子さんにあてはまる項目全てにチェックしてください。
あてはまる項目を選択し、診断ボタンを押してください。(複数選択可)

- 咬んだのはヘビ。
- 咬んだのは野生動物。
- 咬んだのは野放しの犬猫。
- 咬んだのはペットのハムスターやモルモット。
- 処置を試してみたあとしばらくして、息苦しそうになったりゼエゼエしたりしている。
- 処置を試してみたあとしばらくして、咬まれたところが大きく腫れてきた。
- 咬まれたところ痛がる以外、症状がみられない。

[結果を見る](#)

虫に刺された

◆まずは下記の処置を試してみましょう。

1. 蜂の場合は針を抜いて、流水でよく洗う。
2. 鉢の場合、毒のうに注意をして、針の根元をつかんで針を抜く。
3. 毒を絞り出すように、刺されて部位を周囲から圧迫して洗い流す。
4. 殺菌消毒薬で刺されたところを消毒する。

※アンモニアには効果がありません。

処置を試してみたうえで、お子さんにあてはまる項目全てにチェックしてください。
あてはまる項目を選択し、診断ボタンを押してください。(複数選択可)

- 全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった。
- 呼吸がしづらく息苦しそうだ。
- 蜂に10カ所以上刺された。
- 元気はある。
- 痒がる以外に症状なし。

[結果を見る](#)

頭痛

お子さんにあてはまる項目全てにチェックしてください。
あてはまる項目を選択し、診断ボタンを押してください。(複数選択可)

けいれん(ひきつけ)がある。

頭を激しくぶつけた。

顔色がだんだんと悪くなる。

元気がある。

何回も吐く。

発熱(38℃以上)がある。

鼻詰まりがひどい。

[結果を見る](#)

頭を強くぶつけた

お子さんにあてはまる項目全てにチェックしてください。
あてはまる項目を選択し、診断ボタンを押してください。(複数選択可)

- 打った部分がへこんでいる。
- 出血が止まらない。
- 意識がない。
- けいれんがある。
- 何回も吐く。
- 大きなたんこぶができた。
- すぐに泣いて、他の症状がない。

[結果を見る](#)

誤飲

■ 誤飲した時の看病ポイント ■

1. 次の場合は飲み込んだものを吐かせてはいけません。

- (1) 6カ月未満の乳児
- (2) 意識障害、けいれんがあるとき
- (3) 重症な心疾患や、不整脈があるとき
- (4) 強酸や強アルカリなどの腐食性物質(→ 6. へ)
- (5) 灯油やシンナーなどの揮発性石油類
- (6) けいれんを起こすストリキニーネや樟脳などの毒物

2. 次の物質は脂溶性なので牛乳を飲ませてはいけません。

- (1) 農 薬
- (2) 殺鼠剤
- (3) 殺虫剤
- (4) 防虫剤

3. 次のような重い症状のあるときには、直ちに病院に行きましょう。

- (1) 意識障害、けいれんがある。
- (2) 長い時間が経過しても、中毒症状がある。
- (3) 血を吐いた。

4. 誤飲した場合の共通の処置

- (1) 液状のものは、皮膚や目についてないかを調べ、付いていれば流水で15分以上洗いましょう。
- (2) 多量の水を飲ませることは、吐かせるための前処置として行う以外は止めましょう。かえって毒物を溶かしたり吸収をうながしたりしてしまいます。

5. 強酸や強アルカリなどの腐食性物質を誤飲した場合の処置

- (1) 絶対に吐かせてはいけません。
- (2) すぐに多量の牛乳を飲ませましょう。
- (3) 必ず病院へ行って診察を受けましょう。

吐き気

お子さんにあてはまる項目全てにチェックしてください。
あてはまる項目を選択し、診断ボタンを押してください。(複数選択可)

- 生後3ヶ月未満である。
- 何度も繰り返し吐く。
- がまんできないほどの激しいおなかの痛みを訴える。
- 血、もしくは胆汁(緑色の液体)を吐いた。
- 吐いたものがコーヒーの残りかすのようだ。
- 元気がある。機嫌は悪くない。
- ウンチに血が混じった。
- おしっこがでていない。オムツがいつも通りぬれている。
- くちびるが乾いている。
- 頭を激しく痛がる。
- 無表情でウトウトしている。

[結果を見る](#)

せき・ゼエゼエする

お子さんにあてはまる項目全てにチェックしてください。
あてはまる項目を選択し、診断ボタンを押してください。(複数選択可)

- 気管支が弱い、喘息と言われたことがある。
- 38℃以上の発熱がある。
- 突然ゼエゼエし始めた。
- ゼエゼエする直前、口に物をくわえていた。
- くちびるの色が紫色をしている。
- 顔色はよく、くちびるも赤い。
- 鼻水が出ている。
- 声がかすれてほとんど聞こえない。話ができない。
- おしっこが少ない。オムツがぬれても軽い。
- 元気がある。

[結果を見る](#)

耳を痛がる

お子さんにあてはまる項目全てにチェックしてください。
あてはまる項目を選択し、診断ボタンを押してください。(複数選択可)

- 発熱(38℃以上)がある。
- 耳の穴を押しても痛がらない。
- 耳の下が腫れている。
- 頭もひどく痛がる。
- 元気がある。
- 耳だれがある。
- 物をかむときに痛がる。

[結果を見る](#)

鼻血

◆まずは下記の処置を試してみましょう。

1. 鼻血を飲まないように下を向かせる。
2. 鼻の中に何も入れずに、鼻翼全体をできる限り深くつまみ、鼻中隔を圧迫止血する。
3. 鼻呼吸ができない状態で、約 15 分間持続的に圧迫する。

処置をためしたうえで、お子さんにあてはまる項目全てにチェックしてください。
あてはまる項目を選択し、診断ボタンを押してください。(複数選択可)

鼻血が止まらない。

鼻血が止まった。

[結果を見る](#)

腹痛・便秘

お子さんにあてはまる項目全てにチェックしてください。
あてはまる項目を選択し、診断ボタンを押してください。(複数選択可)

- ウンチの中に血が混じっている。
- ウンチの表面に血がつく、もしくはティッシュに血がつく。
- おまた(陰のう、股のつけね)を痛がる。
- おなかを激しくぶつけた。
- おなかがパンパンにふくらんでいる。
- コーヒーの残りかすのようなものを吐いた。
- おなかをさわると嫌がる。
- 腹痛が 2,3 日続いている。
- おなかの風邪が周りで流行っている。
- 数日便が出ていない。
- おへその周りを痛がる。
- ウンチをしたら痛みがやわらいだ。

[結果を見る](#)

下痢

お子さんにあてはまる項目全てにチェックしてください。
あてはまる項目を選択し、診断ボタンを押してください。(複数選択可)

- 生後3ヶ月未満である。
- おしっこがでていない。オムツがいつもどおり濡れている。
- 元気がある。
- 何度も吐く。
- 水分はとれている。
- 目がくぼんでいる。
- 38℃以上の発熱。
- くちびるや口の中が乾燥している。

[結果を見る](#)

おしっこが出ない

お子さんにあてはまる項目全てにチェックしてください。
あてはまる項目を選択し、診断ボタンを押してください。(複数選択可)

- 水分をほとんど取れない。
- 吐いたり下痢をしたりする。
- くちびるが乾燥している。
- 発熱がある。
- 元気がある。
- おしっこをするのを嫌がる。

[結果を見る](#)

ウンチが変

お子さんにあてはまる項目全てにチェックしてください。
あてはまる項目を選択し、診断ボタンを押してください。(複数選択可)

- 元気である。
- 機嫌が悪く、おなかも痛そうだ。
- 38℃以上の発熱がある。
- 肛門を痛がる。
- クリーム色の下痢便。
- ノリの佃煮のような黒くて粘っこいウンチ。
- イチゴジャムみたいなウンチ。
- 真っ赤な血液が便の中まで混ざりあっている。
- ウンチをした後に、便器に血液がついている。

[結果を見る](#)